

□議員名：中村博行

1 全国学力テストについて

論点	平成28年度の成績結果を公表されているが、結果について協議はされたか。また、成績結果の分析、追跡調査はされているか。
回答	テスト科目ごとに国・県と市の平均正答率を比較し、教育委員会内で協議している。また県教委義務教育課などと合同研修を行い、学校ごとの学力・学習状況調査結果についても分析、協議している。追跡調査は中学校で小学校時の結果との比較を行っている。

論点	成績結果は各学校に通知されているか。また、学校別に点数など具体的な成績の公表についての考えを問う。
回答	各学校への通達は、教育委員会への通達と同様に文部科学省から直接、学校へ結果が届けられている。各学校が自校の結果を分析し、改善点等の把握共有をした上で、保護者や地域の方へ公表するよう指導している。しかし、市教委からの具体的な公表は考えていない。

論点	「生活改善・学力向上プロジェクト」がどのように学力テストに反映されているか。
回答	学力テストの結果は、学力のごく一部の状況の目安でしかないが、学力テスト開始当時、全ての評価項目で全国平均よりかなり低い状況にあったが、近年ではおおよそ全国平均より高いか同レベルといえる。したがって、形式的には大きな向上が見られたと考えている。

論点	アクティブ・ラーニングの小・中学校での具体的な取組状況を問う。
回答	アクティブ・ラーニングとは授業形態ではなく、授業改善の視点で、主体的・対話的な学びを広げ、深い学びにつながる取組を継続的に行うことが重要である。本市は22年度から活用型の授業を進め、ペアやグループなどの活動で、授業内容に応じて行っている。

2 市民マラソンについて

論点	悪天候のため2年連続で中止となったが、中止の周知方法に問題はなかったか。
----	--------------------------------------

回答	平成 27 年度は大雪のため、平成 28 年度は雷注意報発令中のため中止となった。開催要項に中止のときの問い合わせ先を記載し、ホームページを含め様々な方法で周知している。27 年度は前日に、28 年度は朝 6 時半に中止決定したが、ともに大きな問題はなかった。
----	--

論点	近年の参加登録者の推移はどうか。
回答	ここ 3 年では、平成 26 年度が 387 人、27 年度が 524 人、28 年度が 382 人となっており、例年約 400 人程度である。3 キロコースや 5 キロコースもあり、選択肢が多いことが参加者の多さにつながっていると思われる。

論点	交流人口増を目的に、市内各地区のマラソン大会を統合した大きなイベントとして開催時期や場所を検討してはどうか。
回答	現在、12 月は市内ロードレース大会、1 月には市民マラソン大会、2 月には埴生地区健康マラソン大会がある。それぞれには歴史があり、参加を楽しみにしている方も多くおられ、統合による大規模大会の開催については、このことも考慮し今後の課題としたい。

3 公立保育所再編基本計画について

論点	説明会を終え、様々な意見が出たと思うが、それぞれに対し、どう応えていくのか。
回答	主な意見の対応は、厚陽保育園の長寿命化対策については大規模改修を含め、適切な修繕をする。厚狭駅南部地区の水害については県の河川整備計画を説明し、理解いただけた。また、閉鎖される保育所の建物や土地の活用は、今後関係部署と協議、検討していく。

論点	本市の認定こども園に対する考えを問う。
回答	幼稚園は定員を下回り、多くの保育所は定員超え、この問題は本市も全国も同傾向にある。待機児童の解消が認定こども園整備の大きな意義であることは認識しているが、本市の場合、公立保育所の再編整備が先で、認定こども園への移行はメリットが少ないと考える。